hq

「生産性と採用力を向上する攻めの福利厚生」

~リモートワーク環境投資の費用対効果を最大化~

01.	Market Issue ······	p.1
02.	サービスのご紹介	p.13
03.	会社のご紹介	p.36

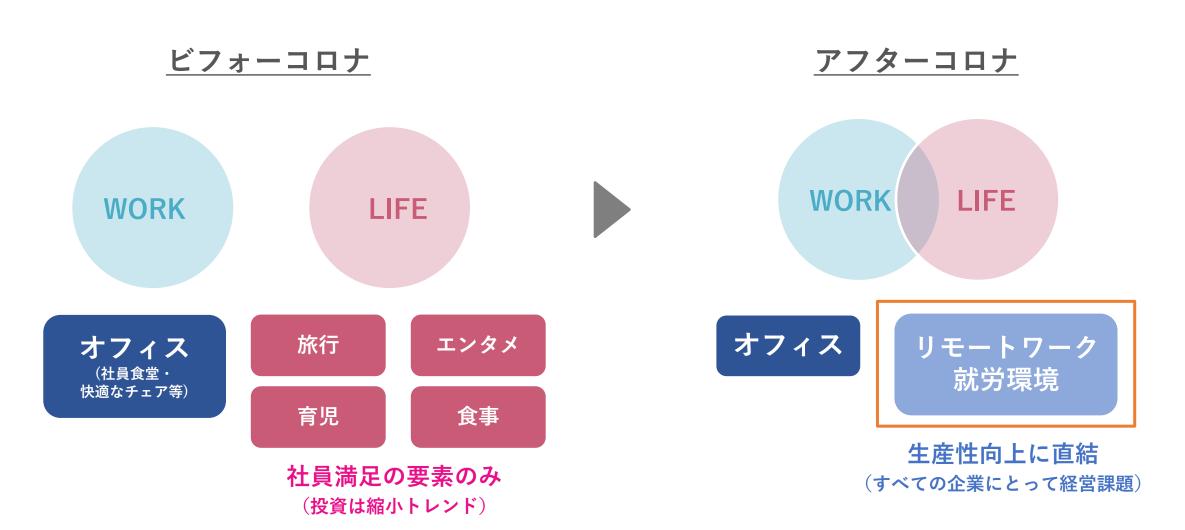


01

Market Issue

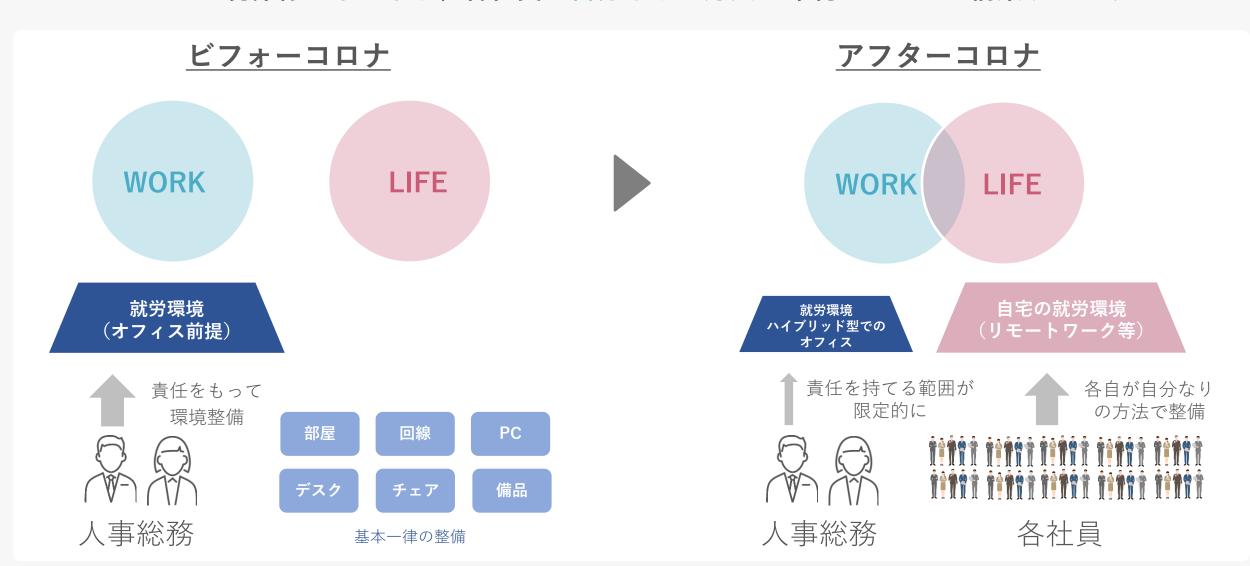


コロナによりワークとライフが融合し、リモートワーク環境への投資が重要に





ワークとライフの境界線がなくなり、各社員が自分なりの方法で環境インフラを構築するように





約100名の自宅の実際の就労環境写真の分析を実施しました

- 対象:リモートワークを実施する首都圏在住の 会社員197名(うち写真提出99名)
- 調査名称:「就労環境の写真」及び「リモート ワーク環境の実態に関する調査アンケート」

判定結果	判定内容			
Α	オフィス環境以上			
B オフィス環境と同等				
С	オフィス環境より劣り、改善が必要			
D	健康や生産性に甚大な影響を及ぼす 環境であり、改善必須			

判定基準表

	評価項目	改善が必要 (スコア:-3)	オフィスより劣る (スコア:-1)	オフィスと同等 (スコア:0)	オフィス環境以上 (スコア:+1)
	デスク	・横幅が60cm未満 ・奥行きが20cm未満 ・高さが50cm未満 ※ローテーブル等	・デスクの横幅が 60cm~100cm未満 ・奥行き20cm以上40cm未満	デスクの横幅が100cm以上 かつ奥行き40cm以上、かつ 高さ60cm以上ある	・昇降デスク・作業スペースが十分にある※横150cm以上 乗行き60cm以上
ベース評価	座る環境	・座椅子やペッド、ソファを 利用している ・育もたれがない、ダイニン グチェアなどを利用している	オフィスチェアではあるが、硬 い材質など業務環境には不適切 である	オフィスチェアである	上質チェアである ※新品で十万前後以上、 アーロンチェア等
	公私の区別	・作業スペースがなく生活用 品で作業している ※例:ダイニングテーブルや ローデーブルで作業等 ・明らかに業務スペースが確 使きていない ・同居人との作業スペース共 有により、作業効率に大きな 課題がある	・生活空間に作業スペースをつくっている ※例:接強に作業用デスクを置いている等 ・業務に無関係のものが置いてある ※テレビ、ゲーム様、楽器、娯楽系の漫画等、業務の集中を妨げうると考えられる物	同居人と共有の 執務室がある	自分専用の軟務室がある
	インターネット回線	・ほぼ毎日オンライン会議等 で遅延やフリーズが発生する・通信が遅くて仕事がはかど らない	・たまに、あるいは週1以上オ ンライン会議等で遅延やフリー ズが発生する ・作業時に遅い時がある	特に問題はない	加点なし
その他	画面環境	-	・モニターなし ※デスクトップPCも同様 ・モニターはあるが、PCとの 距離が遠い	モニターあり	デュアルモニター
	ライト		ライトなし	ライトあり	加点なし
	グリーン (観葉植物)	_	_	_	机上・部屋内に グリーンがある

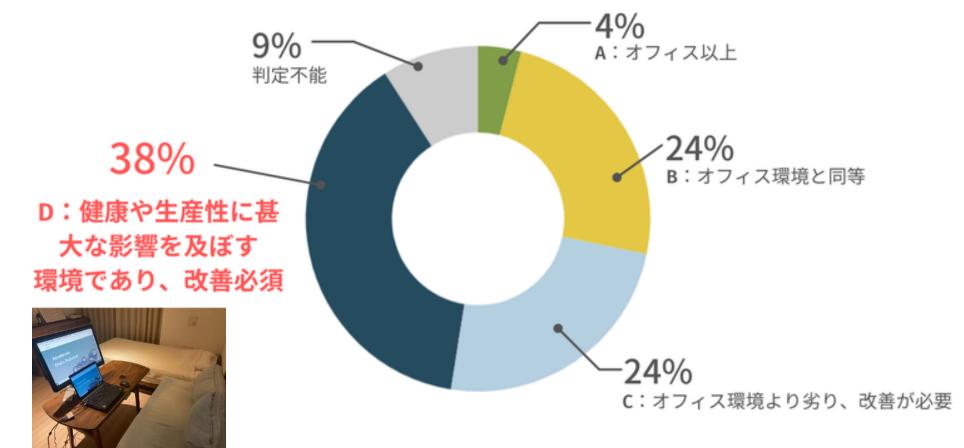


約100名の自宅の実地調査に基づくと、悲惨な環境の社員の割合は約4割存在





環境分析における判定結果





生活空間での備品を使用、長時間仕事をする場として適切でない環境



- 執務スペースと寝室が一緒で集中しづらい
- 座椅子で仕事しているので腰痛い、疲れる
- 引越したいが金銭面の負担大きく先延ばし





ウェブマーケ

30代後半/女性 ITトップセールス

- 机の高さが低くPCの下に本を置いて対処
- ソファで一日8商談することも
- 商談用のカメラ等もない
- 食事と仕事スペース一緒、仕事の切り替えし づらく 長時間労働になりがち





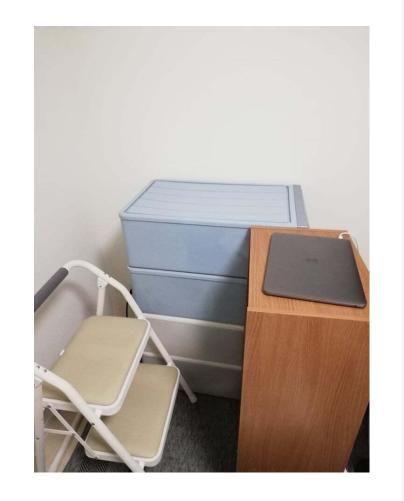
悲惨な環境で仕事を継続した結果、身体に影響を及ぼしている



大手IT

エンジニア

- 元々ローテーブルにアグラや正座で仕事
- 半年経過後、慢性前立腺炎と診断された
- 現在は座って仕事できない状態に。
- 仕事はできていたため、健康崩すまで危機感に 気づかなかった。
- 元々は仕事とプライベート分けたいタイプ





環境の未整備による人財の生産性の機会損失/経済的インパクトは甚大であり、経営課題

環境未整備による生産性への悪影響/機会損失

- ✓当社サービス導入による環境改善の生産性向上実感値
- ✓対象:A~Dランクのすべての当社サービス導入社員

環境整備後の生産性へのインパクト



(1) 2021年11月時点。当社サービス導入によるユーザーアンケート回答結果

環境整備不足を経済インパクトで換算すると…

- ✓平均年収600万円の社員
- ✓生産性に5~20%の影響があるとすると、



リモートワーク環境整備への投資をしないと、 1名あたり年間30~120万円の機会損失

仮に1,000名の社員がいた場合

全体では3~12億円/年の機会損失

*環境改善にかけた費用は一人当たり年間6万円程度であり、1,000人換算で6,000万円



現状は、対症療法的に各施策が導入されているが、本質的な課題解決につながっていない





公私混同領域ならではの特殊な課題性質であり、企業主導での解決が困難

公平性/継続性



平等性が重要視される領域

都度対応する場合、社員満足がむしろ下がる

自分は自費でしっかり揃えたのに、なぜ Aさんは会社オフィスの高級チェアを送 ってもらえたのか? 不公平!

個別最適性



一人ひとり異なる課題やニーズ

個別対応する場合、人事総務が忙殺される

正直、備品だけ用意されても意味ない。WiFiルーター渡されたけど、うちだと回線が弱すぎて、ストレス

継続運用



新入社員が入るたびに増える就労環境

一度整備しても、仕事がなくならない

昨年、一括で備品支給をしたが、そ の後毎月入ってくる新入社員は、正 直、放置になってしまっている



エンジニア職の一部など、支給備品への拘りが強い社員もおり、会社主導で対応することが困難

当社サービス導入時に実際にエンジニアから寄せられた意見(抜粋)



キーボードは、東プレのやつが 含まれていないと、ちょっと厳し いです。



大型モニターは、4Kでないと、 支給されても使う気になかなか ならないです。



一番満足度が高かったのは

CO2濃度測定器です!

コーディングのときの眠気が

全然違います!



チェアは、開発業務に向いている 最高峰のものを用意したい。



12

POINT 1

悲惨な状況の社員割合多く、生産性向上の経済損失は甚大

POINT 2

社員任せでは解決が難しい領域であり、**企業側の対応が必要**

POINT 3

一方で、個別最適性、公平性、継続運用が求められる<u>特殊な領域</u>でもあり、自社での**課題解決が困難**



課題の特殊性にあわせた解決策が必要

02

サービスのご紹介



いつでも、どこでも生産性高く/健康的に働く環境づくりを実現します

これまで

オフィスへの投資のみ 働く環境を総務担当が一律で用意 社員は環境整備を考える必要なし





オフィス縮小や交通費の削減



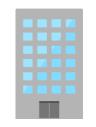
リモートワーク環境 への投資

これから

一人ひとりが生産性高く 自分らしく働ける環境をつくる



会社は社員に投資と 専用ツールを用意











リモートワークにおける健康経営/生産性向上のために必要な アドバイスを専門家から受けながら、環境整備を行う仕組みを活用



社員一人ひとりが自分に最適なリモートワーク環境を自律的に整備する仕組みです

<u>貴社</u>





一人当たり月額予算 例) 5,000円/月

社員



自分に合う 備品を選択 (月額レンタル)



hy UE-HAQ



専門家サポート

生産性向上特化型 ラインナップ 1,000品超









チェア

デスク

モニター

WEB会議関連









PC周辺機器

グリーン

区分け付き

空調/その他

OPTION / ラインナップに加えるかどうか選択







WiMAX

健康経営

リフレッシュ



手当のような「公平性」が高い仕組みで、費用対効果を最大化できます

リモートワーク手当

貴社





月額手当 (課税対象/報酬扱い)











D

用途は自由…

- 成果につながらない
- 環境整備支援が必要
- 報酬扱い/会社も個人も 税金増
- →効果が見えない

hy リモートHQ

貴社





一人当たり月額予算 (課税対象にならない)

<u>社員</u>







- ✓ 生産性向上に直結
- ✓ 専門家がサポート
- ✓ 手当支給と比較して、 会社も社員も税金減
- ✓ 成果がみえる







生産性向上の確かな実績

生産性向上と健康経営での大きな効果





簡単に運用できるシステム

問い合わせは全て弊社が対応。入退社もワンクリックで完了





リモートワーク専門家サポート

リモートワーク就労環境の専門コンシェルジュに相談できる





圧倒的な費用対効果

圧倒的に安いレンタル価格で、内製するよりもお得



リモートワーク環境の専門サービスとして、生産性向上と健康経営を促進します

生産性向上

生産性20%増の効果実感

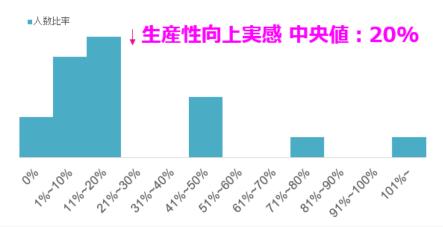
平均年収600万円 / 社員数1,000名の場合

→年間**12**億円の経済効果

ご参考:リモートHQを導入した社員様へのアンケート調査

Q:仮にリモートHQを利用する前の仕事の生産性を100とした場合、 リモートHQ導入後の仕事の生産性の値を教えてください

環境整備後の生産性へのインパクト

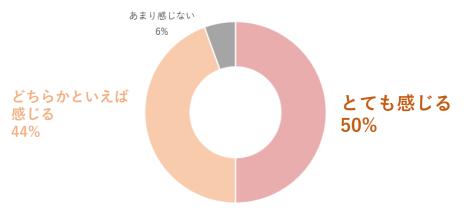


健康への影響

健康に繋がったと94%が回答

Q:リモートHQの利用を経てアップデートされた就労環境は、

ご自身の心身の健康(姿勢改善/肩凝り/腰痛/リフレッシュ等)に繋がったと感じますか



よくある事例: 悲惨な状況から良好な環境へ整備 ベッド等での長時間業務 ワークチェア・ブースの導入









公平な制度運用が、工数負担なく継続できるシステムです

公平な制度運用

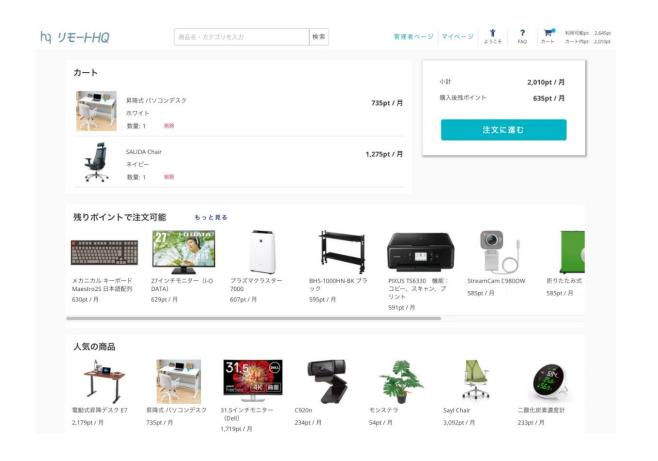
会社の制度にあわせて一人当たり予算を適切 に管理

新入社員対応

ワンクリックで登録するだけ 後は社員がリモートHQを利用し、最適な環境が 自動的に整備されます

社員対応

返却/退社時対応などは全てリモートHQが対応。 状況はいつでも確認できます





根拠に基づいた専門知見を活用し、成果につながる選択を促します

リモートワーク環境コンサルタント

リモートワーク環境構築に専門性を持つコンサルタントが 在籍。各種データや海外事例 などを活用し、社員様の就労 環境構築をサポートします。



分かりやすいアドバイスコンテンツ

数あるラインナップの中から、その 社員様に最適なものを選択いただく 上で、各種コンテンツをご用意。環 境構築時におけるよりよい選択を後 押しします。



専門知見の例

<各種備品の選び方>

- ワークチェアの選び方
- 自身に合ったデスクサイズ
- モニターのサイズ、枚数、設置方法

<作業環境と健康リスク>

- 体型に適したワークチェアと デスクの高さ
- 長時間着座と健康の関連性
- 作業環境の明るさと眼精疲労

<更なる生産性追求>

- 複数モニターと業務効率
- 空調と集中力
- グリーンと生産性

<職種特性サポート>

- 営業職向け必須アイテム
- エンジニアにおすすめの疲労軽減キ ーボード
- クリエイティブ系タスクにおすすめ アイテム



リモートワーク環境の専門コンシェルジュが、一人ひとりちがうニーズに対応

実際にご利用いただいた社員様の例: (30代女性/営業職)

サーベイや自宅環境写真の提出

- ソファの使用によって腰が沈み、姿勢が悪化。 その結果、首を痛め通院中。
- 更に、高さの合っていないダイニングテーブルの 使用によって長時間前傾姿勢に。
- クライアントとの打ち合わせは、PC下に本を挟んでWebカメラを調整。
- 作業スペースが狭く、いつも縮こまった体勢になってしまう。業務効率も悪い。



※:希望者のみご利用いただきます

コンシェルジュへ相談 ※

コンシェルジュへの相談で 課題・ニーズを言語化

具体的な商品のレコメンドもあり より良い選択がしやすい



<オンライン・約10-40分>

ご自身の状況にあった商品を選択

- **自身に合ったチェア**を選択。身体を自由に動かせ、 前傾姿勢もサポートしてくれるタイプを採用。
- チェアとデスクの高さを体型に合わせて調整。デスクは、身体への負荷を軽減する昇降式を導入。
- モニターはデュアル方式で**Web会議に最適化**。更に 縦置きにすることにより、首への負担軽減も狙う。
- デスク幅を140cmにすることにより、余裕のある作業スペースを構築。メモなどの筆記作業もサポート。







年間の投資で捉えると他就労環境への投資と比較しても投資対効果高い

年間の投資金額

6,000万円

月額5,000円×12カ月×1,000名



年間の効果(試算)

3~12億円



既存社員

新入社員

月額5,000円×12カ月 1名あたり年間60,000円の投資



※入社人数によって変動 シュミレーション上、現社員で換算

生産性の向上

✓平均年収600万円の社員

✓5%~20%の生産性向上につながるとしたら※1



1名あたり年間30万円~120万円の効果



社員満足度の向上

採用力の向上

※1:生産性の向上は、弊社サービス導入企業のサーベイ結果を元に5~20%の生産性向上として算出

他就労環境への投資費用とHQコスト比較 参考:社員1名当たりコスト (月額) 比較 10万円 7-8万円 2-3万円 5,000円 利用社員1,000名時のコスト(年間) 比較イメージ ※コワーク(個室)7.5万円、コワーク(平場)2.5万円、交通費1.5万円で試算 12億円 9億円 3億円 1.5億円 6,000万円



基本システム利用料は無料。予算や目的にあわせて、貴社に最適な制度設定が可能です

システム 基本利用料





備品レンタル費用

※「レンタル費用については返却送料実費及びサービス費用(故障時対応やメンテナンス費用など)が含まれます」

以下のサポート費用が含まれます



リモートワーク環境分析



社員のデータ管理



コンシェルジュへの相談



定期的なフォロー

貴社で設定した要件をシステムに簡単に反映できます

制度設計における考慮ポイント例

- 利用推奨したい社員層(新入社員/既存/職種 イメージ)
- 実現したい就労環境のグレード感
- 社員負担と会社負担のバランス
- PLインパクトのコントロール



お客様のご要望にあわせて、最適なソリューションをご提供します

プラン①

リモートワーク手当 の代替として活用



既存社員への対応は完了 新入社員の入社制度で活用

プラン③

完全自己負担としたいがより良い選択は促したい



会社が社員の自宅環境に投資

- ✔月額2,000円~実施可能
- ✔個別最適な環境を整備

リモートワークを推進する企業として、 社員の「いつでも、どこでも、働きや すい環境 | を実現するための福利厚生

新入社員限定/月額レンタル

新入社員に限定して制度を導入

- ✔新入社員の環境整備をサポート
- √はじめてリモートワークセット

新入社員の入社時福利厚生として利用 採用メッセージで新しい働き方に対す る支援として大きな武器にも

会社負担/費用負担ゼロ

費用負担なしでアップサイド追求

√法人限定サービスのお申
込みと案内のみ

会社負担ゼロであり、規定変更や予算 確保なしに、すぐに導入できます

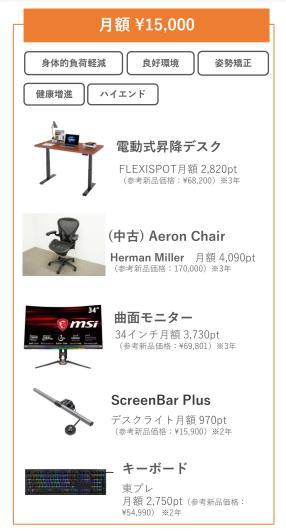


ケース別の具体ラインナップ比較_環境未整備な方











生産性向上につながる環境整備、退職時の対応まで一括対応/非課税対象

	リモートワーク 手当	備品購入	リモートHQ
資産所有者	-	会社or個人	HQ
課税の有無	課税対象	資産管理しない場合 課税対象※1	非課税
支払い方法 (PL負担)	月額	一括	月額
導入後の	\triangle		
環境水準	環境水準 社員任せでは整備が進まない 一気に必要な備品が整う		一気に必要な備品が整う
退職時の対応	なし	早期退職の 対応を要議論	原則HQに返却 (希望者は適正価格で購入可)

※1会社資産として取り扱い、社員にレンタル支給の場合非課税対応も可能だが、会社として資産管理の必要あり(当社システムによる支援にて限定的な工数で管理可能)。他方、個人資産として購入する場合は、課税対象。



専門家の知見を活用しながら、リモートワーク環境整備をフルサポート

オンライン 研修実施

健康/生産性の観点から 環境整備のポイントをご説明



コンサルタント に直接相談

環境整備に関するあらゆるお悩 み・ご相談に対応しています



パーソナライズド プラン作成

※ご希望者のみ

間取りなども踏まえた 個別最適なプランを作成





リモートワーク環境を一式用意できるプラン:月額5,000円の場合

合計:5,000pt/月

コンシェルジュ古田 整備のポイント



- デスクはその方の身長に合わせて高さが調整ができ、チェアのアームが上下に可動するので、その方の体格や腕の長さ等に応じて調整可能です
- WebカメラはフルHD、キーボードはテンキー付きなので、どのような職種の方であっても使いやすいです



昇降式デスク 幅120cm:山善) 1,090pt/月

負荷軽減



ヘッドセット Logicool 200pt/月



(中古)エムフォー チェア: KOKUYO 1,060pt/月

負荷軽減



27インチモニター ASUS 1,560pt/月



ガンフィ ゼピール 290pt/月



Webカメラ(フルHD) GOPPA 390pt/月



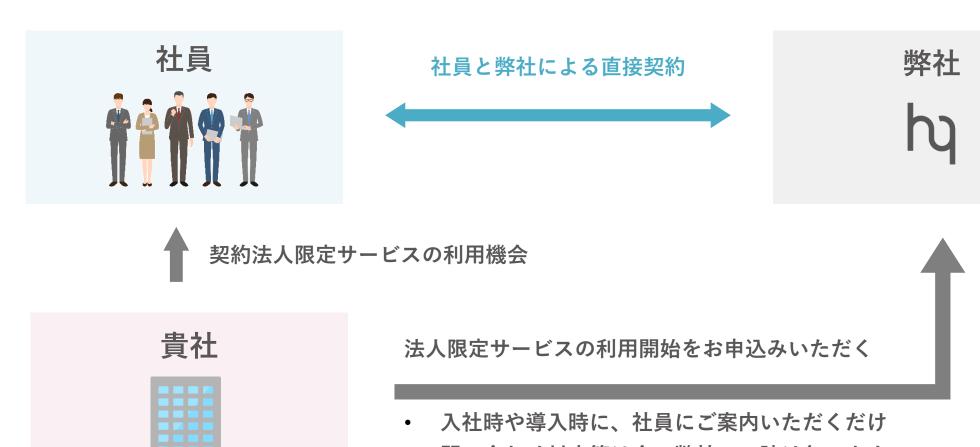
ワイヤレスキーボー ド:バッファロー 190p/月



ワイヤレスマウス バッファロー 220p/月



会社負担ゼロであり、規定変更や予算確保なしに、すぐに導入できます



問い合わせ対応等は全て弊社で、請け負います



税務メリットの最大化、生産性最大化を目的にリモートワーク手当の代替として利用

業種:IT

社員数:150

リモートワーク手当:1万円

課題

- ・社員の就労環境は経営的にも会社理念としても大切に考えている
- ・支給してしばらく経過しているが、**未整備** な社員もおり効果的に利用されていない
- ・自社で備品支給する方法考えたがオペレー ションの観点で煩雑になるため断念

実施プラン

- リモートワーク手当5,000円を切り替えし、リモートHQ(月額サブスクリプション)
- ・税務メリット合計:410万円/年
 - 社員側の手取り増 270万円/年
 - ・企業側の社会保険料減 140万円/年
- ・生産性向上のため専門コンシェルジュをフル活用



入社時の福利厚生として新入社員のみ導入し採用力向上につなげる

業種:IT

社員数:1,000

リモートワーク手当:1日200円

課題

- いつでも、どこでも生産性の高い環境で働いて ほしいという経営側の方針がある
- リモートワーク手当は出しているものの社員に よって環境に差異があり改善したい
- エンジニア採用時の競合比較の際に後押しとなる制度がほしい

実施プラン

- ・全社員に導入したいが、既存社員は一定整えた ことと、初期の予算コントロールの観点でまず は新入社員から導入を決定
- 来年の4月の新入社員適用に向けて社内調整中



エンジニア中心の会社、生産性向上と社員エンゲージメント向上につなげる

業種:IT

社員数:20

備品支援金:年間20,000円

課題

- ・備品支援金は出しているものの**利用していない 社員もおり環境整備ができているか疑問**
- ・制度を利用して良い環境で働いてほしい
- エンジニア中心の会社なので生産性向上が経営課題としても重要と認識している

実施プラン

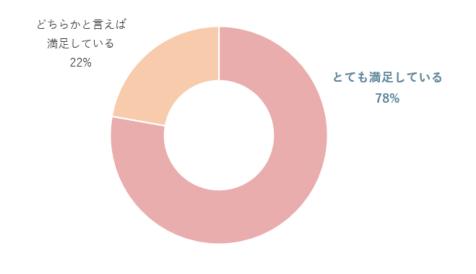
- 備品支援金をリモートHQに切り替え
- 全社員に一律で導入
- ローテーブルやベッドで仕事をしている社員も おり、環境改善につながった
- 既に一定整備済みの社員も電動昇降デスクなど を取り入れ、さらなる生産性向上へ



未整備の社員はもちろん、整備済みの社員にも満足度高い結果に

リモートHQの満足度 とても満足78%、不満0%

- ✓当社サービス導入の満足度
- ✓対象:A~Dランクのすべての当社サービス導入社員



未整備社員Aさん

限られたスペースを有効活用し、リモートワーク環境を構築 長時間着座しても疲れにくいワークチェアの導入

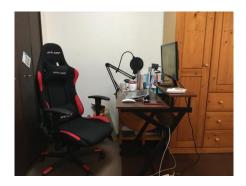






整備済み社員Bさん

デュアルモニターにすることで、さらなる生産性を追求 昇降デスクとフィットネスバイクの導入で健康を意識した環境へ







ユースケースと実際のお声(20代・男性・エンジニア)

Before

- 2LDKのうち1部屋を同居人が執務室として使用
- リビングにあるキャンプチェアで作業orベッド 上で会議
- 腰・首への負荷や公私混同が課題に



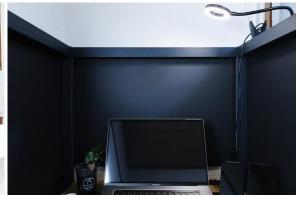


Think Lab HOMEを導入

After

- 寝室に作業環境を構築、ブース型デスクで公私 を区別&開発に最適な集中空間を創出
- 同居人とのリモート会議バッティングゼロに
- 高機能チェアの導入より身体的負荷を軽減





実際のお声

ブース型デスクをレンタルしましたが、仕切りがあるのが思った以上に良くて、とても集中できます。 以前は、色々なものが視界に入ってくる環境だったので、それが見えないことでこんなに集中力に影響があるなんて思いませんでした。



職務遂行における生産性向上効果に拘り、エンジニア特化等のカテゴリもご用意

①現役エンジニアの声を反映

人気のアイテムをとことん網羅

■快適なコーディングをサポート(キーボード)





HHKB Professional HYBRID

東プレREALFORCE

Kinesis Advantage 2

■長時間の作業でも疲れにくい(マウス)



MX Master 3



Kensington ExpertMouse



ERGO M575

■健康増進や集中力向上に効果的(電動昇降デスク)













様々なサイズ・デザイン・カラーのデスクをご用意

②開発業務の効率化に特化

一人ひとりに最適な作業環境を構築

■コーディング時の姿勢に適したタイプの高機能チェア



Aeron Chair (Herman Miller)



Contessa (OKAMURA)

■あらゆる開発業務を効率化(大画面モニター)



4K 32型モニター (ASUS)



4K 42.5型モニター (LG)

■制約のあるスペースにも集中環境を(ブース型デスク)



Think Lab HOME (Think Lab)



KOMORU (Panasonic)

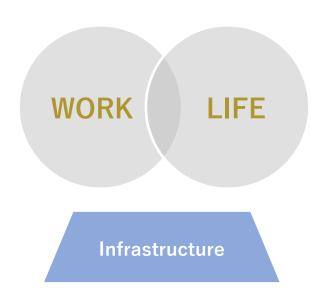
03

会社紹介



MISSION

ワークライフシナジーを 最大化するインフラをつくる



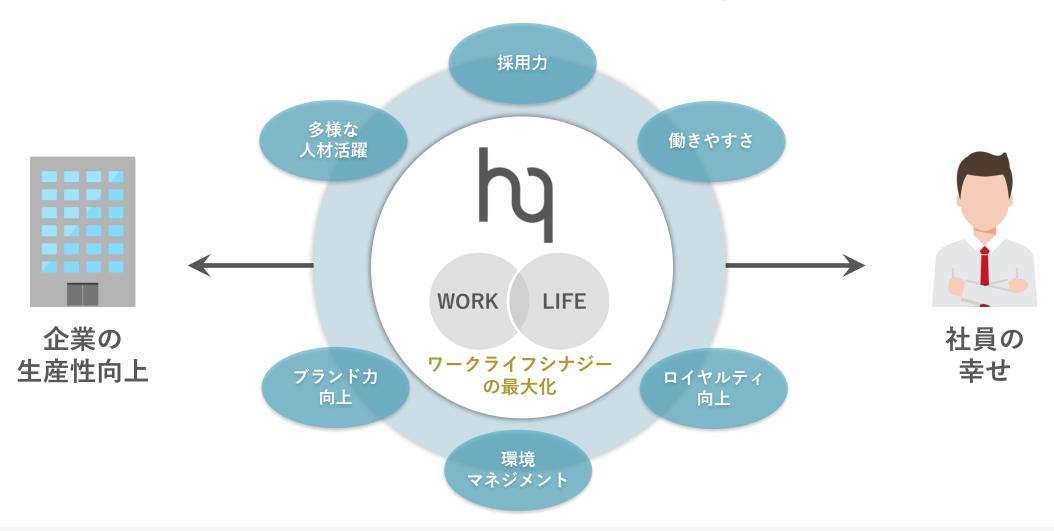


「ワーク」と「ライフ」の重なる部分にフォーカスし、 成果につながる新しい福利厚生を創っていきたい





そのひとりを大切にできる社会へ







坂本 祥二 株式会社HQ 代表取締役

【経歴】

2015年3月 株式会社LITALICOに入社

取締役CFOとして、マザーズ上場、東証一部市場変更等をリード

社員2.000名紹の企業のコーポレート全体を管掌

株式会社LITALICOライフ代表取締役(CFOと兼務) 2017年12月

新規事業のアイデア創出/立ち上げ/黒字化/拡大まで担う

LITALICO入社以前は、カーライルグループにてテクノロジー企業のバイアウト投資業務を担当。 買収実行や投資後の企業価値向上施策の実行などに関わる。

それ以前は、モルガン・スタンレーの東京支社及びニューヨーク本社にて、テクノロジー業界の M&Aアドバイザリー及び資金調達業務に従事。

hq